

総合ガイド

# 教育業界における Appleデバイス管理

---

初心者ガイド



## 世界中の教育機関でAppleデバイスの採用が増加しています。

その結果、組織はMac、iPad、iPhone、Apple TVを最大限に活用し、テクノロジーへの投資対効果を最大化する必要性に迫られています。しかし、新たに採用される多数のAppleデバイスの管理は、これまでWindowsやGoogle環境で仕事をしてきたIT管理者にとっては特に大きな負担となります。

すでにAppleについて熟知している方もいれば、初めてAppleデバイスの管理に飛び込む方もいるでしょう。このガイドでは、Appleデバイスの管理スキルのマスターに役立つ以下のトピックについて説明します。



Appleデバイス管理  
入門



Appleの教育向け  
サービスおよび  
プログラムの概要



Appleの  
ライフサイクル管理  
を理解する



インフラ計画に必要な  
知識



教育機関における  
Apple製品の管理  
とセキュアな運用



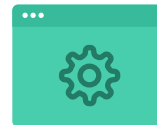
# Appleデバイス管理 の基本

Appleデバイスの管理に取り組む際には、そのライフサイクルのステージごとに一般的なタスクを割り振るのがベストです。これらのタスクは、管理対象がAppleデバイスであっても、Apple以外のデバイスであっても、あるいはその両方の組み合わせであっても、変わることはありません。

## MDM (モバイルデバイス管理) のしくみ

ほとんどのAppleデバイスにはMDM (モバイルデバイス管理) フレームワークが内蔵されており、リモートワイプやパスコード制限などの設定を適用することができます。MDMフレームワークの中核を成すのは、**構成プロファイル**と**管理コマンド**です。

これらがAppleプッシュ通知サービス (APNs) を介してデバイスと通信し、組織データのプライバシーを保護するための証明書がAppleから送信されます。IT管理者が何もしなくても、デバイスとの通信は継続的に行われ、デバイスが管理サーバに通信を戻したタイミングで、あらかじめ定義されたコマンド、設定、構成またはアプリが送信されます。



### 構成プロファイル

構成プロファイルは、Appleデバイスの様々な設定を定義し、動作を指示するためのXMLファイルで、パスコード設定やWi-Fiパスワード、VPN (仮想プライベートネットワーク) の構成の自動化に使用することができます。また、App Storeやウェブブラウザなどのデバイス機能や、デバイスの名前を変更する機能などに制限を適用することもできます。構成プロファイルは、Jamfを使って指定・導入することができ、デバイスまたはユーザーレベルで設定することが可能です。



### 管理コマンド

管理コマンドは、管理対象のデバイスに特定のアクションを実行させるために送信するコマンドです。例えばデバイスが行方不明になった場合は、紛失モードを有効にしたり、コマンドを送信してリモートワイプを実行することができます。OSのアップグレードが必要な場合は、アップデートのダウンロードとインストールを行うコマンドを送信します。これらは、完全に管理されたAppleデバイスで実行できるアクションのほんの一例です。



## MDMとクライアント管理

AppleのMDMフレームワークには、iPadOSやiOS、tvOSデバイスが必要とする基本的な制御機能が用意されていますが、より堅牢なプラットフォームであるmacOSの場合は、より高度な機能が必要となる場合があります。macOSのみで利用可能なクライアント管理機能を活用することにより、デバイスがMDMに登録された直後からMacエージェント（またはバイナリ）をインストールすることができます。

このエージェントは、非表示の管理者アカウントの追加やルートユーザによるmacOSへのリモートアクセスを可能にし、コンピュータ上でより多くのポリシーやスクリプトを実行することができるようになります。エージェントベースのMac管理を行うには内蔵のMDMでは事足りません。Jamfのようなサードパーティのソリューションを活用することで、高度なMac管理が可能になります。

### クライアント管理機能の例



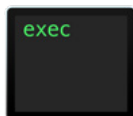
PKGやDMGのインストール



FileVaultの実行



ディレクトリへの紐付け



スクリプトの実行



Dockのカスタマイズ



EFIパスワードの設定



プリンタのインストール



アカウントの作成



ソフトウェアアップデートの設定



# Apple のサービスとプ ログラム

教育機関や企業でAppleデバイスが普及するにつれ、デバイスを大規模に導入する最適な方法や、Apple IDやアプリ購入にどう対処するかについてさまざまな課題が生じるようになりました。Appleはこれらの疑問を解消し、簡単かつコスト効率の良いデバイスの一括管理を実現するために、より優れたデバイス管理プログラムやサービスを導入しました。

しかしながら、すべてのAppleデバイス管理ソリューションが、Appleのプログラムやサービスに対応しているわけではありません。ご利用中のソリューションがこれらのプログラムやAppleが定期的に行うアップデートに対応しているかどうか、ベンダーに確認することが重要です。



## ゼロタッチ導入

この登録プロセスの自動化により、指一本触れずにAppleまたは販売代理店から購入したMac、iPad、iPhone、Apple TVを構成し、各デバイスをユーザ向けにカスタマイズすることが可能になりました。購入したハードウェアは、Apple Customer NumberまたはReseller IDに関連付けられ、Appleの管理ソリューションに自動的に登録されます。さらに自動デバイス登録を行うことで、エンドユーザに優れたゼロタッチ体験を提供することができます。ユーザがリモートで働いていても、またはオンサイトにいても、デバイスを開封して電源を入れるだけで、すぐに仕事を始めることができます。



## デバイスの監視

デバイスの監視を行うことにより、IT部門は、自動デバイス登録、ユーザー承認MDM、Apple Configurator経由で登録されたiPadOS、iOS、およびtvOSに対してより大きな管理能力を手に入れることができます。紛失モード管理、アプリのブロック、アプリのサイレントインストールなどを含む多くの管理機能は、管理対象のデバイスに対してしか使用することができません。企業または教育機関所有のデバイスには監視対象モードを適用することをお勧めします。



## Appとブック

AppleからAppやブックを一括購入し、Apple ID経由で（またはApple IDがない場合は直接）、ユーザに配布することが可能です。導入ニーズに変化があった場合は、Appを再割り当てすることもできます。Appleから受け取ったトークンは、MDMソリューションにリンクして割り当てや配布に使用します。教育機関の場合、インスタンスはApple School Managerで直接作成されます。



## Apple ID

Apple IDは、App Store、iTunes Store、iCloud、iMessageなどのサービスにアクセスするためにユーザが使用するアカウント認証情報です。教育機関の場合、生徒には異なる種類のApple IDが提供されます（詳細は次のページをご覧ください）。





## Apple School Manager

Apple School Managerは、ユーザ、デバイス、コンテンツを一ヶ所で管理できる、IT管理者向けのウェブポータルです。教育機関専用のこのポータルには、自動デバイス登録やAppとブックの一括購入に加えて、クラスルームAppなどの教室管理ツールも揃っており、管理対象Apple IDや共有iPadの管理を行うことができるほか、生徒情報システム(SIS)との統合も可能です。



## 管理対象Apple ID

Apple School Managerのポータルでは、ユーザのために管理対象Apple IDを発行することができ、学校の生徒情報システム(SIS)との統合も可能です。管理対象Apple IDは特別な許可を必要とせず、組織によって所有されるため、IT管理者が作成し、必要に応じて動的にユーザ情報をアップデートすることができます。



## 共有iPad

共有iPadは、複数のユーザにアクセスを提供することができるため、1台のiPadの価値がさらに高まります。ユーザは個別の管理対象Apple IDでログインし、必要なアプリやコンテンツ、タスクなどにアクセスすることができます(この機能を利用するには、Apple School ManagerまたはApple Business Managerが必要です)。





# ライフサイクル 管理のステージ

Appleのデバイス管理フレームワーク（「MDMフレームワーク」）には、Appleデバイスのライフサイクルを構成する6つの要素が含まれています。

Apple製品に内蔵されている管理フレームワークであるMDMは、macOS、iOS、iPadOS、tvOSで利用でき、次のような機能を提供します。

## 1 導入 とプロビジョニング

デバイスをエンドユーザーに届けます。

## 2 構成管理

デバイスに正しい設定を適用します。

## 3 アプリ管理

各デバイスに適切かつ最新のソフトウェアとアプリがインストールされていることを確認します。

## 4 インベントリ管理

各デバイスの状態について報告します。

## 5 セキュリティ

組織の基準に沿ってデバイスを保護します。

## 6 ユーザ支援

リソースやサービスへのセルフアクセスをユーザーに提供します。

導入からエンドユーザーエクスペリエンスに至るまで、組織の環境におけるデバイスのライフサイクル全体を理解し、管理・サポートすることが重要です。これにより、Appleデバイスのセキュリティを確保すると同時に、そのパワーを最大限に引き出すことができます。



# 導入とプロビジョニング

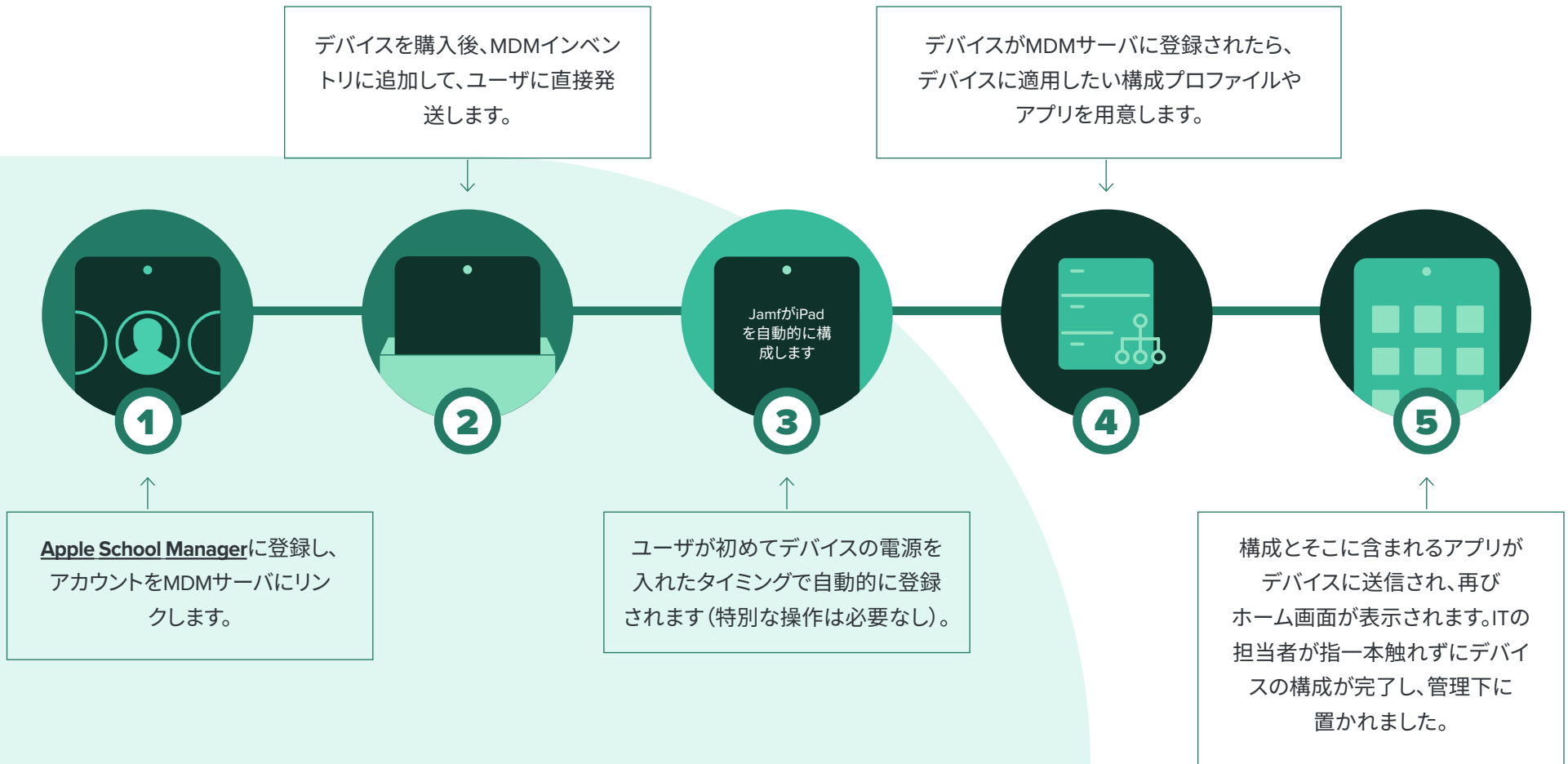
エンドユーザ向けにデバイスを構成する前に、デバイスをMDMソリューションに登録する必要があります。  
登録方法は複数ありますが、効率的でポジティブなユーザエクスペリエンスを求める教育機関には以下の方法を推奨します。

	説明	ユーザエクスペリエンス	監視 (iOSのみ)	最適なケース
<b>Apple School Manager を使った自動デバイス登録</b>	自動登録機能(オンライン)	ユーザがデバイスを受け取って電源を入れた瞬間に自動的に構成されます	あり(無線)	開封してすぐに使用できるため、リモートワークをする教職員や生徒に直接デバイスを発送したい、または迅速なセットアップを希望する場合に最適
<b>アカウント 駆動型ユーザ登録</b>	設定メニューからの手動登録(オンライン)	ユーザがデバイスの設定メニューから登録ポータルにアクセスし、MDMプロファイルをインストールします	なし	管理対象外の個人所有デバイスを新しいMDMサーバに登録する必要がある場合
<b>ユーザ主導の登録</b>	手動による登録 オンライン(URL経由)	ユーザが特定のURLにアクセスし、デバイスの設定を行います	なし	管理対象外のリモートデバイスがある場合、またはデバイスを新しいMDMサーバに再登録する必要がある場合
<b>Apple Configurator</b>	Mac向けアプリを通してiPad、iPhone、Apple TVを導入、またはiOS向けアプリを通してMacを導入	IT部門がセットアップを行い、デバイスをユーザに渡します	あり(有線)	共有デバイスやコンピュータカートなど





## Apple School Managerを使った自動デバイス登録





## 構成管理

Appleデバイスの構成はさまざまな方法から選んで行うことができ、エンドユーザーのニーズに応じて、個々のデバイスやデバイスのグループをさまざまな形でパーソナライズし、カスタマイズすることができます。



### 構成プロファイル

構成プロファイルは小さなXMLファイルから構成されており、macOS、iOS、iPadOS、tvOSの設定を定義するために使用されます。これらを管理ソリューション経由でデバイスに配布することで、ユーザーが必要なリソースにシームレスにアクセスできるように、Wi-Fi、VPN、メール設定などを含む数多くの設定を適用させることができます。



### スマートターゲティング

管理対象のどのデバイスがソフトウェアアップデート、セキュリティ強化、その他の管理アクションを必要とするかを特定するために、あらかじめ定義されたカスタム属性を含むインベントリ詳細を収集します。また、インベントリの基準に基づいてグループを作成し、特定の個人またはグループに対してデバイス管理タスクを自動的に有効化したり、ユーザーが自分でアクセスできるようにアイテムを組織のアプリカタログに用意したりすることも可能です（ご利用のデバイス管理ソリューションによってはできない場合もあります）。



### ポリシー

macOSのクライアント管理ソリューション特有の機能であるポリシーは、MDMの構成プロファイルが持つ基本的なデバイス管理機能を超えて、カスタムソフトウェアやプリンタのインストール、ローカルユーザーアカウントの管理、高度な管理ワークフローの実行などを可能にします。これにより、自動化したいタスク、実行の頻度やタイミング、どのユーザーまたはデバイスに対して実行するかなどを指定することができます。



### スクリプト

ポリシーの一環として、クライアント管理ソリューションに含まれるAppleデバイス管理能力を利用して、macOS上でシェルスクリプトを実行します。ターミナルでコマンドラインを使って実行できるものであれば、何でもスクリプトにすることができます。スクリプトは標準的な構成プロファイルよりもはるかに柔軟性があり、無限のデバイス管理能力を可能にします。

何から始めたらいいのかわからない場合は、一般的なMDMの構成プロファイルが記載された[こちらのリスト](#)をご参照ください。

また、[Jamf Nation](#)で相談することもできます。

## アプリ管理

### アプリの基礎

私たちがiPhoneやiPad、Apple TVなどのデバイスで日常的に利用しているApp Storeは、デバイスにインストールするアプリを入手できる唯一の場所です。Appleはセキュリティとパフォーマンスの観点から開発者のコードを審査するため、セキュリティ面で高い評価を得ています。しかし、Macに関して言えば、App Store以外で手に入るソフトウェアも存在します。

その中にはGoogle Chrome、Microsoft Office、Adobe Creative Suiteなどの人気ソフトウェアも含まれており、カスタムソフトウェアを導入できるMacクライアント管理ツールが必要になります。Jamf ProやJamf Schoolに代表される管理ツールの中には、インストール前後のスナップショットを作成することで、カスタムの.pkgや.dmg (Macソフトウェアのインストールファイルタイプ) を構築することのできる機能を持つものがあります。このようなソフトウェアパッケージは、ユーザー側で何もしなくても管理対象のMacに導入することができます。



ソフトウェアインストール時のスナップショットを作成



カスタムの.pkgまたは.dmgファイルの作成



Jamf Agent経由でプッシュインストール

App Storeで提供されているソフトウェアの場合、Appleのプログラムを利用することで、Apple IDを使わずにすべてのデバイスに対してアプリを配布することができます。

コミュニケーションや学習、生産性を向上させるためのネイティブなツールが内蔵されているAppleデバイスは、消費者に広く普及しています。そして、Appleのエコシステムの人気をさらに際立たせるのがApp Storeに用意された豊富なアプリのライブラリです。アプリの導入を管理するデバイス管理ソリューションを採用することで、ユーザーが必要なアプリを適切に使用できるようにするとともに、組織の環境に合わせたセキュアな運用を実現することができます。

デバイスにプリインストールされたAppleのアプリ、App Storeに豊富に揃ったアプリ、あるいは自社製のカスタムアプリのいずれを利用する場合でも、必要なアプリが安全に利用できる環境を用意することが重要です。

## ソフトウェアのインストールとパッチの適用

Jamf Title Editorは、Jamf Proが提供するmacOSデバイス向けのパッチ管理機能を拡張し、カスタムソフトウェアの提供や既存のパッチ定義の上書き、カスタムパッチ定義の作成を可能にします。さらに、Jamfではサードパーティ製アプリを効率的に導入するための「Appインストーラ」と呼ばれるインストーラパッケージも提供しています。

### アプリ管理で行うことのできる3つのタスク



Apple Business ManagerまたはApple School Managerを使ってアプリを導入



Jamf Proで作成したオンデマンドのセルフサービスカタログ経由でアプリを配布 (詳細は後述)



Apple TV向けにアプリを導入



## アプリ管理

Apple School Manager経由でApp StoreのiOS向けアプリを導入すると、そのアプリのセキュリティと構成がさらに強化されます。



### アプリ管理のメリット



#### 管理対象App

iOS 5で導入された管理対象Appは、標準アプリとは異なり、組織によって所有されているものとして取り扱われ、具体的には、配布や構成、再割り当てがMDM経由で行われます。



#### Managed Open In

Managed Open Inは、管理対象Appの概念をさらに一歩前進させ、ひとつのアプリから別アプリへのデータの流れを制限することを意味します。MDMを利用することで、iOSでドキュメントを開く際に共有シートに表示されるアプリを制限することができ、コンテナを必要としない真の意味でのネイティブなデータ管理が可能になります。

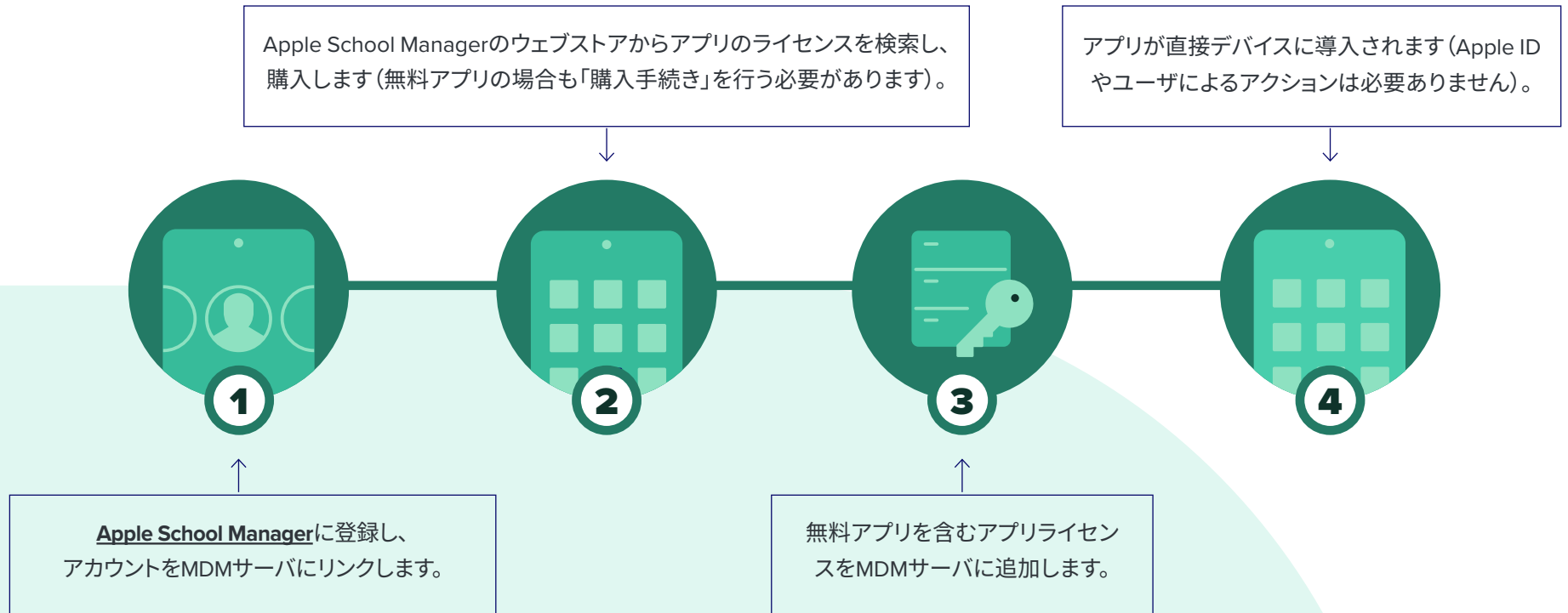


#### アプリ構成

アプリを単に導入するのではなく、いくつかの設定を事前にカスタマイズしたい場合もあります。これがアプリ構成と呼ばれるもので、アプリ開発者は、MDMサーバで事前に構成できる項目をあらかじめ定義することができます。たとえば、サーバのURLがすでに入力された状態でBoxアプリを導入するように定義しておけば、ユーザはユーザ名とパスワードを入力するだけでアプリを起動できるようになります。



## 教育機関におけるApple School Managerを使ったアプリ導入







## Apple TVにアプリを導入する

Apple TVは、エンタープライズアプリ(自社アプリ)にも対応しています。これらのアプリはiOSデバイスの場合と同様に、管理サーバにアップロードすることで、Apple IDなしでApple TVデバイスに自動的にプッシュすることができます。Apple TVでよく使われるエンタープライズアプリには、デジタルサイネージや緊急アラートなどがあります。



### 構成プロファイル

MDMソリューションがあれば、IT管理者はtvOSの構成プロファイルで定義した設定をApple TVデバイスに配布することができます。これにより、Wi-Fi、制限、AirPlayなどの設定をより簡単に適用することができます。さらに、Single Appモードを適用してクラスごとにApple TVデバイスの使用をカスタマイズしたり、会議表示モードで直感的なプレゼンテーションワークフローを実現したりすることができます。



### スマートターゲティング

すべての管理対象デバイスからApple TVデバイス名を含むインベントリの詳細を自動的に収集する機能を利用することで、IT部門はアクションが必要なデバイスを迅速かつ正確に特定することができます。このインベントリ情報に基づいてターゲットグループを構築すれば、デバイスの管理タスクを自動的に行うことが可能です。例えば、AirPlay設定が構成されていないすべてのApple TVデバイスを見つけ出し、それを一斉に導入することができます。



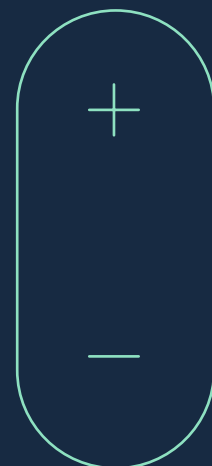
### カスタムアプリとディスプレイ対応

大きな画面でアプリを確認したい場合は、カスタムアプリをMDM経由でApple TVに導入することが可能です。さらに、最新のtvOSでは、ホーム画面のレイアウト設定、アプリの表示・非表示、対象年齢に基づくメディアコンテンツの制限などが行えるようになっています。

## Apple TVについて 詳しく知りたいですか？



ぜひ当社のeBook  
**「初めてのApple TV管理」**  
をご覧ください。





## インベントリ

MDMソリューションは、クエリを作成してAppleデバイス上で大量のインベントリデータを収集することができるため、常に最新のデバイス情報を入手し、十分な情報に基づいた管理上の意思決定を行うことができます。シリアル番号、OSバージョン、インストールされているアプリなどのインベントリ情報を、さまざまな頻度で収集することが可能です。

### MDMで収集できるデータ



#### ハードウェアの詳細

- デバイスの種類
- デバイスモデル
- デバイス名
- シリアル番号
- UDID
- バッテリー残量



#### 管理の詳細

- 管理ステータス
- 監視ステータス
- IPアドレス
- 登録方法
- セキュリティステータス



#### ソフトウェアの詳細

- OSバージョン
- インストール済みのアプリ
- ストレージ容量
- 空き容量
- iTunes Storeのステータス



#### 追加情報

- インストール済みのプロファイル
- インストール済みの証明書
- アクティベーションロックのステータス
- 購入情報
- インベントリの最終アップデート





## インベントリ

### インベントリが重要な理由

状態がわからないものを管理することはできません。MDMソリューションが収集するインベントリデータは、さまざまなビジネスにニーズに応え、よくある疑問に答えてくれます。



すべてのデバイスに対して安全が確保されているか

いくつかのアプリが導入されているか

特定のデバイスにどのiOSのバージョンが搭載されているか

管理ソリューションの中には、特定のハードウェアやソフトウェアのアドオンに関するカスタムインベントリを追加で収集できるものもあります。例えば、サードパーティ製のバックアップツールが最後に実行されたのはいつか、どのプリンタドライバがインストールされているかなどを把握することができます。

### スマートターゲティング

インベントリデータを活用したスマートターゲティングでは、デバイスを動的にグループ化し、構成プロファイルや制限を導入することができます。Jamfでは、これを「スマートグループ」と呼んでいます。

#### スタティックグループ

プロファイルまたはポリシーを適用



#### スマートグループ (特許取得済み)

8GB RAM、80%の空き容量があるハードディスク、バージョン15.1.1かそれ以降を搭載しているすべてのMacを検索



#### スタティックグループ vs スマートグループ

スタティックグループは、例えば教室や研究室などで使用される特定のデバイスから構成され、グループ全体に管理ポリシーを適用することが可能です。

スマートグループは、インベントリデータに基づき常に変化する動的なもので、デバイスを動的にグループ化し、構成プロファイルや制限を導入することができます。



# セキュリティとプライバシー

デバイスのセキュリティやプライバシー、企業リソースへのアクセスは、どの組織にとっても一番の懸念点となっています。このような懸念を和らげるため、macOS、iOS、iPadOS、tvOSには数々のセキュリティ機能が搭載されています。

これをMDMソリューションと組み合わせることで、デバイスだけでなくアプリやネットワークの安全性も確保できます。



## iOSとiPadOSのセキュリティ機能



ソフトウェアのアップデート



セキュアなシステム



App Store



Touch ID



ハードウェアの暗号化



アプリのサンドボックス化



プライバシー



監視



## macOSのセキュリティ機能



ソフトウェアのアップデート



システム整合性保護 (SIP)



Gatekeeper



App Store



FileVault 暗号化



XProtect



アプリのサンドボックス化



プライバシー



tvOSには、Appleからの直接のソフトウェアアップデート、審査され安全性が確認されたApp Storeのアプリ、アプリのサンドボックス化によるアプリデータ保護、監視を通したより深い管理など、iOSに見られる多くのセキュリティ機能が搭載されています。

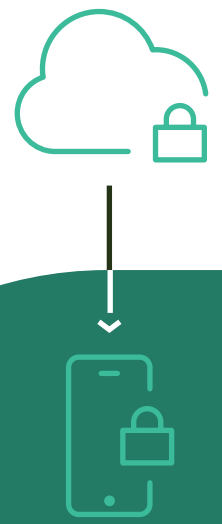
MDMを利用することで、Apple TVの設定を導入してAirPlayのセキュリティを自動化することができます。これにより、AppleデバイスとApple TVをペアリングし、適切なデバイスだけに画面のワイヤレス共有を許可することができるようになります。



# セキュリティ

Unixをベースに作られているAppleのオペレーティングシステムは、中核に強力なカーネルを備えています。セキュリティを考えて設計されているAppleのOSには、独自のセキュリティ設定が内蔵されており、これはMDMソリューション経由で管理することができます。

さらに、Appleデバイスの導入プログラムとMDMソリューションを併用することで、環境内でこれらの設定をより細かく設定することが可能になります。



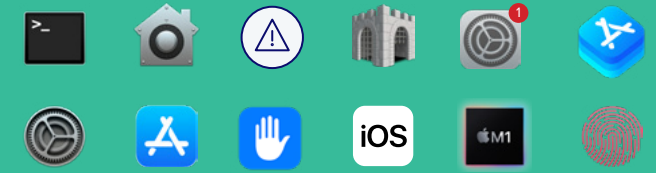
Appleデバイスの導入プログラム



管理



Appleのセキュリティ機能



AppleのOS



Apple OSのベース

# UNIX





## セキュリティ

### macOS、iOS、iPadOS、tvOS向けの MDMセキュリティコマンド

#### macOS



- FileVaultの強制適用
- Gatekeeperの設定適用
- ソフトウェアアップデートの設定
- コンピュータのロック、ワイプ、再起動
- 制限されたアプリの削除
- MDMの削除

#### iOS/iPadOS



- 紛失モードの有効化
- デバイスのロックとワイプ
- リモートワイプ
- iOSのアップデート
- 制限とパスコードの解除
- MDMの削除

#### tvOS



- 紛失モードの有効化
- デバイスのロックとワイプ
- リモートワイプ
- iOSのアップデート
- 制限とパスコードの解除
- MDMの削除



#### MDMによるiOS/iPad向けの紛失モード

Appleの紛失モードをMDMソリューションと組み合わせることで、継続的な追跡によるプライバシーへの影響を心配せずに、紛失や盗難にあったiOSまたはiPadOSデバイスをロックし、発見することができます。紛失モードが有効になると、カスタマイズ可能なロック画面メッセージがiOSデバイスに表示されます。デバイスは使用できなくなり、位置情報がIT部門に送信されます。



#### 条件付きアクセス

Windows Azure ADやOffice 365を利用している組織にとっては、Macデバイス向けに条件付きアクセスパスを適用することが非常に重要になります。業界トップクラスのMDMソリューションには、条件付きアクセスの統合が内蔵されています。

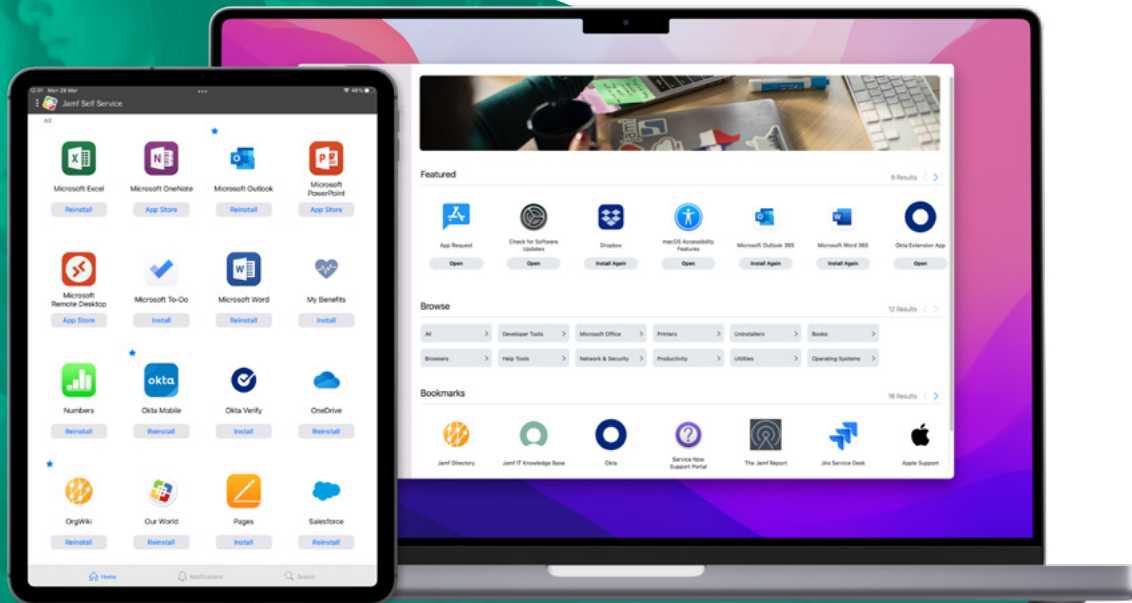


#### ソフトウェアのアップグレード

macOS、iOS、iPadOS、およびtvOSの大型リリースを毎年行うことで、Appleはペースを落とさずにイノベーションを突き進めてきました。Appleは毎年、消費者向けに新機能を発表するだけでなく、セキュリティの強化と脆弱性の修正を行います。これらのアップデートは、従業員や生徒が使用するデバイス上のデータを保護する上で非常に重要です。そのため、Appleからリリースされたアップデートの導入はもちろんのこと、それに伴う新しい管理機能も迅速にサポートしてくれる管理ソリューションが必要になります。

## ニーズに応じたユーザ支援

HeadspaceやDuolingoのようなオンデマンドツールの台頭により、今日の教師や生徒は必要な時に必要なツールを入手することを求めています。Jamf SchoolのJamf StudentアプリやJamf Proのユーザが利用できるSelf Serviceアプリは、リソースやコンテンツ、ヘルプ、信頼できるアプリへのワンクリックアクセスを提供します。これにより、ユーザはIT部門に問い合わせることなく、必要なものを自分で手に入れることができます。



モバイル用アプリカタログ

MAC用アプリカタログ

Jamf Proで利用できるSelf Serviceは、あらゆる種類の教育環境とのシームレスに統合し、組織ごとのブランディングも可能なアプリカタログです。また、Jamf SchoolのJamf Studentアプリは、アプリやリソース、プロファイルへのアクセスに加え、教師とのメッセージのやり取りなども可能にする強力なツールを備えており、より優れた指導や学習のワークフローを通じて生徒の成功を支援します。

### 教育機関向けのアプリカタログ経由でアクセスできるもの

- App Storeのアプリ、自社アプリ、およびサードパーティーソフトウェア
- メール、VPN、その他の構成
- 電子書籍、ガイド、ビデオ
- ブックマークとショートカット
- プリンタのマッピングとドライバ
- ヘルプデスクへの問い合わせやハードウェアのリクエスト
- パスワードのリセットとコンプライアンス情報
- 基本的なメンテナンスやシステム診断
- ソフトウェアとOSのアップグレード
- シングルサインオン(SSO)との統合
- 英語、フランス語、ドイツ語、日本語、中国語(簡体字)の言語対応



## ニーズに応じたユーザ支援

### オンデマンドアプリとリソースカタログのメリット

#### ITチームにとってのメリット

- 組織の環境をコントロールしながら、ヘルプデスクへの問い合わせやサポートコストを削減
- 管理対象のmac、iPad、iPhoneにアプリカタログ(例:Jamf ProのSelf ServiceやJamf SchoolのJamf Studentアプリ)を自動インストール
- ディレクトリサービスとの統合により、部署、ユーザの役割、ロケーションなどに基づいてコンテンツをパーソナライズ
- パスワードのリセットやシステム診断など、一般的なITタスクを自動化

#### 教職員や生徒にとってのメリット

- さまざまなリソースに好きな時に自分でアクセス
- 使用言語や環境に合わせてパーソナライズされた直感的なユーザインターフェース
- 学習ポータルやイントラネット、HR関連ツール、コミュニケーションプラットフォーム、社内リソースなど、必要な情報や学習リソースへの簡単なアクセスを提供するウェブサービスをブックマーク
- ITの助けを借りずに学校が承認したアプリをセルフインストール
- プリンタのインストールやソフトウェアのアップデートなど、一般的なITタスクを迅速に解決
- 利用可能なサービスやセキュリティの強化について、リアルタイムで通知を受けることが可能



### サードパーティとの統合

Appleデバイスの管理は、組織で採用されるテクノロジーの一部に過ぎませんが、これは非常に重要かつ不可欠な要素です。Incident IQのようなヘルプデスクのチケット管理ツールや、GoogleやMicrosoftのようなSSO認証ツールを含め、既存のITツールとシームレスに統合できるAppleデバイス管理ソリューションを見つけることが重要になります。

Jamf Marketplaceに見られるようなサードパーティツールとの統合は、既存のツールやエコシステムの持つ力を増幅してくれます。業界の枠組みを超えた統合から特定のソリューションまで、このような統合はITチームと各サービスの架け橋となり、統合された安全でシームレスな体験をIT管理者や教職員、生徒に提供します。

トップクラスのMDMソリューションは、組織の既存のリソースに合わせてアプリカタログをブランディングできる機能を提供します。これにより、既存の内部ツールとシームレスに統合した、ユーザにとって馴染みやすく使い勝手の良いアプリカタログが実現します。



## インフラ計画

デバイス管理ソリューションの選択と同じくらい重要なのが、それをどこでホスティングするかです。クラウドでホスティングする場合、アップグレードが容易になるだけでなく、サーバの管理やトラブル処理などを含む多くのタスクからITチームを解放してくれます。

## クラウドに移行する組織がますます増えています

多くの学校や大学が、以下を含む多くの理由からクラウドを利用しています。

### クラウドホスティングのメリット



サーバのプロビジョニング、  
セキュリティの維持、  
アップデート管理



バックアップ管理と検証



世界中どこからでも  
アクセス可能なストレージ



オフサイトでトラブルが  
発生した際の対応



データベース管理、セキュリ  
ティの維持、アップデート



サーバの監視と対応チーム



# 教育機関におけるAppleデバイスの 管理とセキュアな運用

Appleは、異なるデバイス間で互換性を持つアプリやサービスを利用できる、相互接続されたエコシステムの構築を続けています。教育パートナーシップの拡大 (Shaw Acadmey Trust、カリフォルニア州立大学、Oasis Horizons Project) や、豊かな学習やリモート指導・学習を支援するテクノロジーの積極的な採用、そして教職員や学生がデバイスを選択できるプログラムを提供する大学の増加により、Mac、iPad、iPhone、Apple TVはますます身近なものとなっていくはずで

Appleのデバイスやデクのロジへの投資対効果を最大化するために必要なのは、Apple製品を利用する組織の成功を最優先に考える管理ソリューションです。

Appleデバイスの管理およびセキュアな運用の絶対的なスタンダードであるJamfは、エコシステム全体で一貫した管理体制を確立したいと考える教育機関から大きな信頼を得ています。

**無料トライアルでJamfのパワーを実際に体験してみませんか？**

[無料トライアルに申し込む](#)

または、Apple認定販売代理店までお問い合わせください。